

令和3年群馬県農業産出額

農政部 令和5年3月

群馬県における令和3年の農業産出額は、2,404億円と前年に比べて2.4%減少（59億円）となりました。減少理由は、米や野菜の価格が下落したことによるものです。また、都道府県別の順位は12位です。

部門	区分	産出額 (億円)	構成比 (%)	対前年 増減額 (億円)	概要	
農業産出額 計		2,404	97.6	▲ 59		
耕種	米	110	72.4	▲ 42	主食用米の生産量が減少し、単価も低下したことから、産出額が大幅に減少した。	
	麦類	15	115.4	2	小麦の生産量はやや減少したが、小麦の国際価格の上昇に伴い、国内小麦の単価が上昇したため、産出額がかなり大きく増加した。	
	雑穀・豆類	3	75.0	▲ 1	そばの生産量が減少したため、産出額が大幅に減少した。	
	いも類	9	69.2	▲ 4	かんしょ及びばれいしょの生産量は増加したものの、単価が低下したため、産出額が大幅に減少した。	
	園芸	野菜	891	88.7	▲ 113	キャベツの生産量は増加したものの、単価は低下した。なすやほうれんそうは、単価は下落した。その結果、産出額がかなりおおきく減少した。
		果実	79	98.8	▲ 1	りんごは生産量が減少した。うめは前年に比べ生産量が増加したが、単価は下落した。その結果、産出額はわずかに減少した。
		花き	53	115.2	7	花きは単価が上昇したため、産出額がかなり大きく増加した。
		計	1,023	90.5	▲ 107	
		工芸農作物	71	116.4	10	こんにゃくいもは、単価が上昇したため、産出額が大幅に増加した。
		種苗・その他	14	127.3	3	野菜苗の増加により、産出額が大幅に増加した。
	計	1,245	90.0	▲ 138		
畜産	肉牛	167	114.4	21	肉牛生産量はほぼ横ばいであったが、単価が上昇したため、産出額がかなり大きく増加した。	
	乳用牛	257	99.2	▲ 2	生乳の生産量および単価はわずかに上昇したことで、生乳の産出額はわずかに増加した。一方、乳雌・雄子牛、育成牛・成牛の単価が大幅に減少したため副産物の算出額がかなり大きく減少となり、乳用牛全体の産出額は前年からわずかに減少した。	
		うち生乳	218	101.9	4	
	豚	468	100.6	3	出荷頭数はやや増加し、単価はほぼ横ばいであったため、産出額がわずかに増加した。	
	鶏	255	128.1	56	鶏卵の出荷量や単価が上昇したため、産出額は大幅に増加した。	
	その他	12	100.0	0		
	うち養蚕	1	100.0	0	天候不順（長雨、猛暑等）による作柄が悪かったこと、養蚕従事者の減少により、産出額がわずかに減少した。	
	計	1,158	107.3	79		
	加工農作物	1	100.0	0		
	(参考) 水産物	4	80.0	▲ 1	マスの生産量は増加したが、コイの生産量が減少したため、産出額がわずかに減少した。	

(注) 合計と内訳は四捨五入の関係で必ずしも一致しない。

個別農産物順位

順位	品目	産出額 (億円)	構成比 (%)	前年順位
1	豚	468	19.5	1
2	生乳	218	9.1	3
3	鶏卵	201	8.4	7
4	キャベツ	183	7.6	2
5	肉用牛	167	6.9	5

わずか：±2%以内
やや：±3～5%
かなりの程度：±6～10%
かなり大きく：±11～15%
大幅：±16%以上